

ふるいちただお

前号、神戸市長田区在住の古市忠夫さん(77歳)にお聞きした阪神淡路大震災からの教訓のお話の続きです。

古市さんの言葉ひとつひとつに込められた熱意を感じます。

震災直後、焼けた街並みを見ながら立ち尽くす子どもたちに『これからどうしよう。。。』と言われたとき、『お前ら家族全員、俺が何としてでも食わしてやる!』と言いました。

その強い決意が、言葉通りの現実になっています。そういうことなんです。何の根拠もなかったですし、その時点でプロゴルファーになるなんて夢にも思いませんでしたが、とにかく口に出すことが大事です。プロゴルファーになってから、講演に605回招かれ、ゴルフレッスンのDVDも2枚出していますし、著作は多数出ています。取材を受けて書かれた本も映画化されました。講演先は一部上場企業もありましたし、海外での講演も2度ありました。中でも印象に残っているのは、臨濟宗の総本山、京都の花園、妙心寺での講演です。お坊さんばかり350人。私がお坊さんに説教するなんて、信じられないですよ。改めて思うのは、大事なのは、理論、セオリーだけではないということです。実践が大事です。もっと言うと、結果が大事です。どれだけいいことを言っても、理論だけでは説得力がありません。街の復興をしている自治会長がプロゴルファーになって、どうやって10勝したのかを知りたくて、皆さん講演を依頼してくるんです。今77歳ですが、80歳、85歳、90歳になったとき、どんな自分になっているか、どんなことに挑戦して結果を出してきたかを伝えたいと思っています。

これから高齢者がどんどん増えて行って、どういった考え方で生きてきたかの差がものすごく広がってくると感じています。子どもや孫たちと共に遊び、青春のような人生を送るお年寄り、認知症になってしまったお年寄りとは、ものすごい差があると思いませんか。最後は老いて死ぬ



ことは誰も避けられないですが、どう生きるかは選ぶことができます。松下幸之助さんの本に、『青春は心の若さである。信念と希望にあふれ勇気に満ちて、日々新たな活動をする限り、永遠に青春はあなたのものである。』と記されている言葉を大切にしています。

お話を通じて『心』の大切さを伝えてくださっていますね。

『80歳までゴルフできたい。』私の友達でそういうことを言う人がいます。脳が細胞を動かし、肉体を動かします。ですから、そういう事ばかり言っていると、本当に80歳になったときに身体が動かなくなってしまいます。脳からの命令で、80歳までは動くけれど、80歳になったら本当に動かなくなってしまふ。人間の身体って、そういう風に出来ているんだと私は思います。では、脳が筋肉に命令をしているのであれば、脳に命令をしているのはなんだろう？私は、己の『心』や意識が、脳に命令をしていると思っています。

心が脳に命令し、脳が筋肉に命令する。であれば、生まれてきたことに感謝すること、生かしてもらっている事に感謝することが何より大事だと思います。

プロテストでは、35歳、40歳離れた若い選手たち1,300人と13日間戦いました。少しでも多く叩いて(打数が多くなって)しまつたらそれでオシマイです。とにかく『心』が大事で、テスト中とはとにかくテストを受けられることへの感謝の気持ちでいっぱいでした。心とはなんぞや。ゴルフは心の格闘技ですから、『心』『技』『体』のうち、『技』『体』についてはいろんな人が教えていますが、『心』とは

なんでしょう。闘争心、向上心、克己心とか不屈の精神が『心』だと思っていました。こういったものが心であるならば、ゴルフをやればやるだけ怖くなります。恐怖心から抜けられなくなります。一方で、私が思う『心』は、“絶大なる積極性”と“感謝”です。震災を経て、積極的にチャレンジできること、生きられること、すべてのものへの感謝。この二つこそが真の勇気だと思っています。ある時この考えが芽生え、真実を確かめるためにプロテストを受験し、合格してしまつたんです。

“絶大なる積極性”と“感謝”なんですね。

感謝の気持ちは、人の心を大きく、美しく、若く、そして強くする。

これは、間違いのないです。そして言うだけではだめです。私が実践してプロゴルファーになったからこそ、人は聴いてくれます。これから、もっともっと証明したいと思っています。今の実績だけでは、まだ周りで聴いてくれない人もいますから。残念ですが、妬み、やっかみも半分あります。離れていった人もいます。仏教の言葉に『随喜功德』がありますが、相手とともに喜んであげたら天からのお返しがあるという意味です。で

も、世の中にはそれを喜ばない人もいます。これがかんがえられない。近所の方々が私がタイガーウッズ選手と対戦したことや映画化のことを喜んでくれた人は、ごく少数だったことからも実感しています。でもこればかりは人それぞれですし、喜ばない人に怒りを向けたら同じことですからね。

震災後 日々の体験 宝物

私が詠んだ句ですが、震災後の体験は本当に宝物だと思っています。

毎日毎日が宝物ですね。震災前とは考え方も、もの見方も変わっているからこそ体験したことの捉え方も変わったんだと思います。



全国避難者情報システム

ふるさとネットの登録について

この情報紙からからは「ふるさとネット」の登録情報より発送しております。「ふるさとネット」に登録していると北海道からのお知らせや、教育・福祉・医療に関する相談のご案内といった情報が提供されます。

転居、登録解除、定住の場合はご連絡ください。

- 引越しなどで住所を変更された方→住所変更
- 避難元に帰還される方→登録解除
- 道外へ転居される方→登録解除
- 道内に定住される方→登録解除

- 【連絡先】 ■避難先の市町村の窓口またはお電話で。
 ■北海道総合政策部 地域振興局 地域政策課地域政策グループ TEL.011-204-5800
 メール/shienhonbu@pref.hokkaido.lg.jp
 ■北海道広域避難アシスト協会 TEL.011-375-0521

※住民票の異動、郵便局への転居届等の手続きとは異なり別途手続きが必要になります。

お問い合わせ先

北海道総合政策部 地域振興局 地域政策課地域政策グループ
 (北海道道外被災県・避難者支援対策本部事務局)
 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 道庁本庁舎4F
 電話 011-204-5800 FAX 011-232-1126
 ※道では全国避難者情報システムの呼称を「ふるさとネット」としています

※お預かりした個人情報は、避難者の支援のために利用するほか、避難先都府県への提供など、限定した目的のみ利用し、その他の目的には一切使用いたしません。